

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第2項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成27年8月14日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
【会社名】	洛王セレモニー株式会社
【英訳名】	Rakuoh Ceremony Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 憲司
【本店の所在の場所】	京都市南区久世高田町35番地3
【電話番号】	075 - 933 - 4242
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 倉田 浩人
【最寄りの連絡場所】	京都市南区久世高田町35番地3
【電話番号】	075 - 933 - 4242
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 倉田 浩人
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第1四半期累計期間	第31期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日	自平成26年4月1日 至平成27年3月31日
売上高 (千円)	567,297	2,202,175
経常利益 (千円)	103,077	358,713
四半期(当期)純利益 (千円)	69,379	225,674
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-
資本金 (千円)	237,123	237,123
発行済株式総数 (株)	2,054,200	2,054,200
純資産額 (千円)	917,724	887,375
総資産額 (千円)	1,663,966	1,750,765
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	33.77	109.86
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	19.00
自己資本比率 (%)	55.2	50.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社を有しておりませんので記載しておりません。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 当社は、平成26年6月25日開催の取締役会決議により、平成26年9月1日をもって普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しております。

6. 当社は、第31期第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、第31期第1四半期累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策等の効果が下支えする中、消費者物価の緩やかな上昇や企業収益の改善に伴う設備投資の増加が見られるなど、国内景気の回復基調が続きました。個人消費につきましても、2014年4月の消費税増税以降、増税の直接的な影響を大きく受けましたが、雇用情勢の回復や所得環境の着実な改善等もあり、当四半期を通して見ると堅調な推移となりました。

当社が属します葬儀業界におきましては、わが国では他国とは比較にならないほど少子高齢化が進展し、2025年頃には日本総人口の30%程度を高齢者（65歳以上）が占めると推計されており、社会的関心は更なる高まりを見せています。そして核家族化や住宅事情等により、葬儀を行う場所として葬儀会館の利用がさらに増加すると見込まれ、新規会館出店を伴う顧客獲得競争が継続しています。さらに、インターネットによる葬儀紹介業者及び組合組織へのサービス提供会社の葬儀業界への参入により、葬儀価格の明瞭化、低価格化がより一層進み、競争は激しさを増しています。

このような中、当社は、従来より京滋地区を中心に、安心して故人をお見送りすることのできる自社会館の出店を進め、ご家族中心にお見送りをする「らくおう家族葬プラン」や、火葬式・直葬式・1日葬規格を中心とした「ラフューネプラン」のさらなる推進を図り、明瞭な価格体系にてご葬儀の提供を行ってまいりました。当第1四半期累計期間におきましても、自社葬儀会館として24会館体制で運営をおこない、各地域の生活者の方々に徹底して認知をいただくため、会館でのイベント、会館近隣へのポスティング等の告知戦略、チラシの刷新、また、ホームページをはじめとするインターネット戦略等の見直しも積極的に行ってまいりました。

このように前期中に開設した自社会館の稼働により、さらに地域の方々への認知が深まり、葬儀施行件数が前事業年度比8.2%上昇いたしました。また、葬儀単価の低い火葬・直葬プラン等の比率は増加したものの、一般家族葬の単価は堅持した結果、売上高も前事業年度比21.5%上昇いたしました。以上の結果、当第1四半期累計期間については、売上高は567,297千円、営業利益は103,574千円、経常利益は103,077千円、四半期純利益は69,379千円となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ86,799千円減少し、1,663,966千円となりました。これは主に、現金及び預金が66,310千円、売掛金が19,017千円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて117,149千円減少し、746,241千円となりました。これは主に、未払法人税等が54,956千円、長期借入金が21,960千円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて30,349千円増加し、917,724千円となりました。これは主に、四半期純利益を69,379千円計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社が対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成27年8月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	2,054,200	2,054,200	非上場	単元株式数は100株であります。
計	2,054,200	2,054,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年4月1日～ 平成27年6月30日	-	2,054,200	-	237,123	-	60,000

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	-	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,054,200	20,542	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,054,200	-	-
総株主の議決権	-	20,542	-

【自己株式等】

平成27年6月30日現在

所有者の氏名又は 名称	所有者の住所	自己名義所有株式 数（株）	他人名義所有株式 数（株）	所有株式数の合計 （株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
-	-	-	-	-	-
計	-	-	-	-	-

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

なお、当四半期報告書は、当第1四半期に係る最初に提出する四半期報告書であるため、前年同四半期との対比は行っておりません。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	324,061	257,750
売掛金	126,556	107,539
商品	10,038	10,143
貯蔵品	739	771
繰延税金資産	13,111	13,111
その他	26,615	31,334
貸倒引当金	8,754	8,769
流動資産合計	492,368	411,880
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	472,787	470,812
土地	564,299	564,299
その他(純額)	74,371	69,698
有形固定資産合計	1,111,457	1,104,810
無形固定資産	3,195	3,068
投資その他の資産		
差入保証金	129,949	129,949
その他	24,610	23,577
貸倒引当金	10,815	9,320
投資その他の資産合計	143,744	144,206
固定資産合計	1,258,397	1,252,086
資産合計	1,750,765	1,663,966
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,527	68,037
1年内返済予定の長期借入金	201,612	198,945
未払法人税等	91,073	36,117
賞与引当金	13,030	5,997
その他	146,862	128,811
流動負債合計	533,106	437,908
固定負債		
長期借入金	305,246	283,286
退職給付引当金	6,538	6,547
その他	18,500	18,500
固定負債合計	330,284	308,333
負債合計	863,390	746,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	237,123	237,123
資本剰余金	60,000	60,000
利益剰余金	590,251	620,601
株主資本合計	887,375	917,724
純資産合計	887,375	917,724
負債純資産合計	1,750,765	1,663,966

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	567,297
売上原価	346,911
売上総利益	220,385
販売費及び一般管理費	116,811
営業利益	103,574
営業外収益	
受取配当金	10
助成金収入	831
その他	42
営業外収益合計	884
営業外費用	
支払利息	1,381
営業外費用合計	1,381
経常利益	103,077
税引前四半期純利益	103,077
法人税等	33,698
四半期純利益	69,379

【注記事項】

（四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（四半期キャッシュ・フロー計算書関係）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第1四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
減価償却費	13,947千円

（株主資本等関係）

当第1四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	39,029	19	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

当社は、葬儀事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第 1 四半期累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 6 月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	33円77銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額 (千円)	69,379
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	69,379
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,054,200

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、平成27年 7 月13日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1 . 自己株式の取得を行う理由

資金効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

2 . 自己株式の取得内容

(1) 取得する株式の種類

普通株式

(2) 株式 1 株を取得するのと引換えに交付する金額

1 株につき650円

(3) 取得し得る株式の総数

300,000株 (上限)

(発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 14.6%)

(4) 株式の取得価額の総額

195,000千円 (上限)

(5) 取得期間

平成27年 7 月15日から平成27年 8 月21日

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 8 月10日

洛王セレモニー株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業 務 執 行 社 員 公認会計士 荒 井 巖 印

指定有限責任社員
業 務 執 行 社 員 公認会計士 児 玉 秀 康 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている洛王セレモニー株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第32期事業年度の第1四半期会計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、洛王セレモニー株式会社の平成27年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）1．上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。